

NAGASAKI 看護連盟だより

第25回参議院選挙

祝 当 選



目

次

会長あいさつ……………	2	石田まさひろ参議院選挙 当選結果 ……	7
名誉会長あいさつ……………	3	青年部だより……………	8
令和元年度地区支部報告会(県南・県央) ……	4	施設紹介(長崎県島原病院) ……	9
令和元年度地区支部報告会(県北・離島) ……	5	北村誠吾衆議院議員入閣……………	10
長崎県看護連盟支部役員一覧……………	6	たかがい参議院議員来崎……………	10
		研修案内、編集後記……………	10



ごあいさつ

長崎県看護連盟 会長 久米 春代

残暑のあと、天候不良に見舞われ九州豪雨災害では該当地域にお住まいの皆さまにはお見舞い申し上げます。

さて、早いもので「令和」の時代となって4ヶ月が過ぎました。皆さまは、新年号のもと気持ちも新たに日々お過ごしのことと思います。

7月21日に行われた第25回参議院選挙では、会員の皆さまやご家族・知人の方々には多大なるご協力、ご支援をいただきましてありがとうございます。お陰様で、石田まさひろ参議院議員が二期目の当選を果たすことができました。

得票数189,863票（自民党比例区12位）で医療職の中ではトップ当選をすることができました。長崎県は7,479票で全国4位の成績でした。目標数には遠く及ばずとても残念な結果となりました。会員の皆さまに、看護政策実現には政治が必要であること、看護の代表を国政に送ることの重要性を一生懸命伝えていったつもりでしたが、まだまだ熱意・努力が足りなかったこと反省しております。

また、県・支部の役員の皆さまにおかれましては昼夜を問わず活発に活動していただき本当にお疲れ様でした。このことを真摯に受止め、次へと繋げてまいりますのでこれからもご支援・ご協力宜しくお願い致します。

8月9日には、安倍総理が長崎原爆犠牲者平和式典出席の来崎に伴い、お見送りする会よりお声がかかり長崎空港でお見送りすることができました。とても緊張しましたが、花束贈呈までさせていただき感無量で社会に向けて広く活動している看護連盟の組織力を実感したところでした。

さる9月11日には、第4次安倍再改造内閣で北村誠吾先生が地方創生兼規制改革担当相として初入閣、加藤寛治先生が農林水産副大臣にご就任されました。おめでとうございます。これからの益々のご活躍をご祈念申し上げます。

最後になりましたが後輩の看護学生への吉報ですが、国家試験の会場が今回から受験者数の増加と地域のバランスを考慮し、試験地に新潟県が加わり全国13ヶ所で実施されることになりました。また合格発表日が年々早まる傾向にあり、2020年3月19日が3職能共通の発表日になりました。これは現場で働く新人看護師の雇用契約が早まり、諸手続きの負担軽減、免許発行までの期間が短縮されるなどの利点があり私たち看護職代表議員 阿部俊子先生、高階恵美子先生、石田昌宏先生の尽力があっただけです。会員の皆さん、誇りを持って連盟活動を推進してまいりましょう。

看護協会・看護連盟が共同して展開している Nursing now キャンペーン活動「看護の力で健全な社会を！」看護の力で明るい未来を築いていきましょう！



ホテイアオイ（水草の花）



ごあいさつ

長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

度重なる台風の被害の中に、秋の七草咲きました。皆さまにはご壮健で、それぞれの職場でお励みのことと存じます。

さて、過日の参議院議員選挙、「石田昌宏」氏の参議院議員選挙「夏の陣」の活躍お疲れ様でした。ふりかえれば決して充分満足した結果とは云えない、空しく腕を組む日が続いております。皆さまは如何でございましょうか。「備えあれば憂いなし」を論じ続けた3年間「看護と政治」の必要性は馬耳東風だったのか、また、何が不足だったのでしょうか、自問自答の日々であります。この時、改めて、私の政治活動に思いを寄せる心を…、昭和34年、日本看護協会初代会長、井上なつゑ姉の参議院議員選挙から爾来50年余であります。この間、主権国家たる日本国民として自国は自国で守る為に、それぞれの立場で努力を重ねて生きる今日、国際社会の日本国として評価されている現状は確かに政治力であると思います。更により一層、国際社会の日本国として評価ができるために看護連盟は組織力を高め看護職、看護の仕事がより地域社会に届きますように、なお、看護が輝くために自分達のご事は自分達で、(自力・自立) 力合せて果たしたことは政治力であり、看護組織代表、参議院議員、井上なつゑ、林 塩、石本しげる、清水嘉与子、南野知恵子、高階恵美子、石田まさひろ先生の活動に期待を寄せ無我夢中で走り続けた日々でした。

(必勝の鉢巻と共に)

◎すでに連盟だよりで知った内容をもう一度 (日本看護連盟の活動)

- 2014年 看護師等の離職時等における都道府県ナースセンターへの届出規定(努力義務)の創設(平成27年10月1日)
看護師の特定行為の研修制度創設(平成27年10月1日施行)
豪雪被害救済措置として、初の看護師国家試験の追加試験の実施
- 2009年 看護師の卒後臨床研修の努力義務化、保健師・助産師の教育期間延長
- 2008年 訪問看護ステーションの基本療養費アップ
- 2006年 診療報酬で1.4:1ランク(7:1)の新設
- 2003年 中医協に看護職が専門委員に就任
- 2001年 看護職の名称が「師」に統一
- 2000年 看護職に守秘義務の規定
- 1998年 看護専修学校卒業者に大学編入の道
- 1992年 看護師等人材確保法制度
- 1990年 「看護の日」制定
- 1975年 育児休業法成立
- 1973年 夜間看護手当ての大幅アップ

◎長崎県看護連盟が果たした主たる業績

長崎県のご事は長崎県で

- ・県立シーボルト大学看護栄養学部看護学科新設
- ・ながさき看護センター建設

- ・看護部長を副院長に登用
- ・看護学校副校長を校長に昇格
- ・長崎県看護キャリア支援センター

◎看護連盟の役割は政治力を結集して国際社会の中で生きる日本国民としてすべての人々が人間らしくその人らしく、穏やかな最期を支えることができる為に国会議員(法律) 地方議員(条例)の活動が原動力であります。

・これからの活動

過日の参議院議員「夏の陣」選挙を充分振り返り、人々が期待する看護、時局に即した看取りに政治力が必要か否か、個々のふりかえりに期待を寄せ、やる気・本気・根気で取り組む自分であるのか、看護の諸問題は山積しています。明日の看護に期待を寄せると共に、皆さまのそれぞれの仕事に幸せがありますように心から祈念してあいさつと致します。

小泉進次郎衆議院議員(38)が環境相として初入閣 - 令和元年9月11日(水)(読売新聞) -

- 天気不規則の秋、草むらにこおろぎの声 -

令和元年9月11日 記



令和元年度 地区支部報告会

県南地区支部

- 日時** 令和元年6月26日(水) 18:30~20:15
- 参加人数** 163名(来賓14名を含む)
- 場所** 長崎県看護協会(長崎会館) 5階研修室



梅雨の中、県南地区9支部合同報告会と合同研修会を開催しました。県議会議員、市議会議員の先生方、長崎県看護協会県南支部長を来賓としてお迎えし、149名の連盟会員と共に、活動報告と今後の計画、7月の第25回参議院選挙に向けての活動について熱く語り合いました。

第1回合同研修会で「看護と政治、夢のある長崎を一緒に作るには『人口減少対策、長崎新幹線問題』～看護職に期待すること～」をテーマに長崎市議会議員深堀義昭先生から、地域医療の問題など講演して頂きました。



最後に石田先生成りすまし、古賀先生(代理でお母様)、連盟の魂を込めた白衣姿の名誉会長が登場し植松支部長率いる応援団のエールの元、参加者全員での「がんばろうコール」で会場が一致団結したところで終了しました。皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。ありがとうございました。

県央地区支部

- 日時** 令和元年6月28日(金) 18:30~20:00
- 参加人数** 会員194名、来賓6名
- 場所** ながさき看護センター 3階研究室



県央地区報告会、「石田まさひろ、古賀友一郎 総決起大会」

を、県議会議員の八江利春先生、中村和弥先生をはじめとした来賓の方々を迎え、盛大に開催することができました。長崎県看護連盟久米会長の挨拶では、看護が地域貢献に大きな役割を担っている事の重要性について話をされたり、また、山口ミユキ名誉会長からは看護の後輩(私達)に対する激や励ましの言葉がありました。



総決起大会では山口ミユキ名誉会長に負けない情熱で県央地区の各支部の決意表明が趣向を凝らして行われました。「長崎一番!」を合言葉に会場は一体となり、勝利を確信できる決起大会が開催でき、熱伝導が体現された総決起大会となりました。

県北地区支部

日 時 令和元年6月26日(水) 18:30~20:00

参加人数 115名 **場 所** 佐世保市中部地区公民館



県北地区支部では、古賀友一郎参議院議員、外間雅広県議会議員、湊浩二郎市議会議員をはじめ長崎県看護協会県北支部長及び看護連盟会長、県役員の方々そして多くの連盟会員の参加により開催されました。ご来賓の方々より心温まるご祝辞を頂き、今後の連盟活動の励みになりました。

115名の出席のもと、平成30年度県北地区活動報告に続き2019年度の活動計画案については大多数の承認を得ることができました。今年度は、看護協会との連携として看護協会県北支部との合同研修会を計画し県北地区の組織力強化を図って行きます。続いて、青年部が中心となり「石田まさひろを励ます会」を開催。石田まさひろ議員に扮した青年部役員が古賀友一郎参議院議員とシッカリと握手を交わし会場を盛り上げて頂きました。

最後に、片山第1支部支部長より新役員紹介と第3支部編成当初から活動して頂いた横山紀美子支部長が退任されることとなりました。本当にお疲れさまでした。県北支部を牽引して頂いた方の退任だけに不安で一杯ですが新メンバー、施設リーダーと連携・協力して支部活動を行っていきますのでご支援とご協力を宜しくお願い致します。



離島地区・上五島支部

日 時 令和元年6月27日(木)

場 所 長崎県上五島病院、保健師のだんごや(会員の店)

7月は参議院選挙で忙しくなるため、6月27日(木)に山口名誉会長、久米会長、顧問の金澤氏を迎えて、OBや一般人向けの出前講座を開催して頂きました。この日は天気も悪く時化の中、上五島までお越しいただきありがたいことでした。会場にはOBや一般の方を含め約20名ほど集まっていた頂き、お話を聞く中で名誉会長の精力的な活動にパワーを頂いたとの嬉しい感想でした。また、OBの方々も久しぶりに名誉会長とお会いして喜んでおりました。このあと、会員のほとんどを占める長崎県上五島病院を訪問しました。

短時間ではありますが、部長や師長、副師長と懇談され、目標に向かって会員の皆様と気持ちの繋がりを持てたことは、上五島支部にとりまして、有意義な半日でした。



長崎県看護連盟 支部役員一覧

地区	支 部	支部長	幹事長	幹 事			
県南地区	第1支部	古場 敬子 (長崎記念病院)	山口みどり (長崎記念病院)	高濱千由紀 (長崎友愛病院)	佐野 由佳 (長崎みなと メディカルセンター)		
	第2支部	馬渡いつ子 (十善会病院)	林田佐枝子 (昭和会病院)	岡村 嘉子 (出島病院)	西 静 (長崎あじさい病院)		
	第3支部	松尾 清美 (長崎掖済会病院)	前田 睦美 (長崎リハビリ テーション病院)	中村久美子 (長崎市医師会 看護専門学校)	西山 正宏 (井上病院)		
	第4支部	平野 晃彦 (済生会長崎病院)	成富智津枝 (和仁会病院)	大石 正和 (大久保病院)	上原ゆかり (済生会長崎病院)		
	第5支部	谷尾佐知子 (長崎原爆病院)	敷山 祥子 (重工記念長崎病院)	山中加奈子 (重工記念長崎病院)	小野 美樹 (長崎原爆病院)		
	第6支部	藤本 真一 (光晴会病院)	堤 啓子 (長与病院)	荒木ときよ (光晴会病院)	木本早智恵 (長与病院)		
	第7支部	植松 末広 (聖フランシスコ病院)	近藤 弘美 (三原台病院)	原 千加子 (聖フランシスコ病院)	池下寿賀子 (三原台病院)		
	第8支部	藤井三千子 (長崎百合野病院)	川嶋 珠美 (長崎百合野病院)	津上 弘一 (虹ヶ丘病院)	山元 紀子 (女の都病院)		
	第9支部	山口ひとみ (小江原中央病院)	溝口 千鶴 (長崎北病院)	原口 康 (長崎北病院)	山田 景子 (日浦病院)		
県央地区	第1支部	岩崎美千子 (島原市医師会看護学校)	中島 禮子 (個人)	馬場 祐一 (島原市医師会看護学校)	菅藤 文子 (個人)	貴田 英司 (島原市医師会看護学校)	本嶋 順子 (島原市医師会訪看 stsQ)
	第2支部	古川留美子 (愛野記念病院)	糸山 沙織 (愛野記念病院)	本多 葵 (愛野記念病院)	崎山 豊子 (老健おばま)		
	第3支部	馬場 郁子 (諫早総合病院)	中尾佳代子 (諫早総合病院)	大畑 直子 (諫早総合病院)	園田 寅典 (諫早総合病院)		
	第4支部	池田千絵子 (長崎原爆諫早病院)	西 貴子 (長崎原爆諫早病院)	松尾 美香 (長崎県看護協会)	西山美奈子 (長崎県央看護学校)	高田 直美 (長崎県看護協会)	島田真奈美 (菅整形外科病院)
	第5支部	平野つよみ (諫早記念病院)	中村 節子 (むつみの家)	今川 洋子 (むつみの家)	平山ちさと (あゆみの家)	大砂 康子 (諫早療育センター)	
	第6支部	井上 二郎 (南野病院)	楠原香寿美 (貞松病院)	石丸 貴敏 (市立大村市民病院)	浦田 由美 (市立大村市民病院)	眞崎友美子 (長崎県精神医療 センター)	
県北地区	第1支部	片山由喜子 (個人)	中倉智恵美 (佐世保共済病院)	嘉悦 孝子 (佐世保市立看護 専門学校)	西原イサ子 (佐世保市総合 医療センター)		
	第2支部	坂口 広美 (佐世保記念病院)	福本 裕二 (耀光リハビリ テーション病院)	茂山美由紀 (北松中央病院)	山口 則子 (長崎労災病院)		
	第3支部	横山加代子 (佐世保中央病院)	中山清嗣 (佐世保中央病院)	横山 藤美 (佐世保中央病院)	山口由美子 (佐世保中央病院)		
離島地区	下五島支部	塩塚 和子 (訪看鑑瀬)	吉田 悦子 (個人)	赤窄かずみ (長崎県五島中央病院)	千代田富美子 (長崎県五島中央病院)		
	上五島支部	川端 逸子 (個人)	田中 啓子 (個人)	本村ひづる (有川医療センター)	田中ます子 (有川医療センター)	頭島利江子 (長崎県上五島病院)	

第25回参議院選挙 石田まさひろ氏当選おめでとうございます



7月21日に実施された参議院選挙において石田氏は見事第2回目の当選を果たされました。

結果 全国比例 自民党順位 12位/19名中

得票数 全国 189,893票

長崎県 7,479票 (全国4位)

長崎県の結果は、前回のたかがい選挙では全国1位でしたが今回は4位に留まりました。しかし得票数では6年前の選挙(6,395票)と比較すると1,000票以上の伸びがあり石田氏の認知度が上がった結果と感じました。

石田まさひろ個人演説会

日時：令和元年7月5日(金) 16:00~16:50

場所：ながさき看護センター 4階大会議室

7月4日の参議院選挙公示の翌日に石田候補者が来崎され長崎の会員に向けて力強くメッセージを発信されました。平日の昼間にも関わらず約300名の会員が集まり石田氏の熱い看護構想に耳を傾けました。石田氏は次の福岡への出発の為、1時間弱の集会でしたが21日の投票日に向けて会場全体の熱気を感じることができました。



選挙カー長崎県入り



7/5 16:00 諫早→長崎(泊)

7/5 長崎鉄橋での選挙運動風景



7/6 8:00 長崎→大村→愛野→口之津→熊本



石田まさひろ先生

看護連盟 青年部だより

第25回参議院選挙結果 当選おめでとうございます！

私たち青年部も精一杯応援しました！
皆様ご協力ありがとうございました。

7月5日 石田先生が来崎され、個人演説会を行いました。それに合わせて5、6日と選挙街宣車で長崎県各地を回らせて頂きました。

長崎市浜の町鉄橋でも石田先生の応援演説を行い道行く方々に耳を傾けて頂きました。

ご協力ありがとうございました！！



令和元年第1回青年部研修会
日時：8月31日（土）
場所：長崎県看護協会（長崎会館）
参加者：県内の青年部34名中22名参加



青年部の仲間たち

グループワークでは、普段話すことのない他地区・他施設の部員と話すことができ、各施設での活動や熱の違いを実感し有意義な意見交換ができました。テーマとして「**青年部として今後やりたいこと**」をグループで話し合い、①キャラバン活動を通して次のステップへ繋げるにはどのような行動が必要か。②若手会員が政治に興味を持ち、投票行動がとれるように青年部としてどのような活動を今後していくべきかを議論しました。この中でポリナビの参加と投票の重要性を高いモチベーションで保つためイメージを変えていく。青年部と支部長または管理者との連携を深める。青年部の経験年数によっては発言力が低く発言が統一できていない。キャラバンには管理者も参加していただき、看護学校などへのキャラバンで看護連盟とは何か・政治活動で今の現状があることを伝え看護の関りを理解してもらおうといった意見が挙げられました。同じ年代の若い世代の皆さん、ぜひ青年部の活動へ参加いただければと思います。



第7回九州ブロックポリナビワークショップ in 熊本
～新しい時代 新しい看護 新しい私～
に参加してきました！！

6月29日 九州各県の青年部メンバーが集まり、それぞれ各県の問題を提示し情報交換することができました。出席された高階先生にも耳を傾けて頂きました。基調講演とし国政報告を聞き、我々の代表が国政の場で活躍されている内容を再確認することもできました。



みてみてmy病院

第24回 長崎県島原病院

当院は、昭和41年、温泉を利用したリハビリテーション専門病院「長崎県立島原温泉病院」を開設、その後、平成14年に改築し「長崎県立島原病院」に名称を改め、一般病床250床（うちICU4床）、感染症4床を有する地域の中核病院となりました。平成21年4月、長崎県と島原半島3市を含む5市1町で構成する「長崎県病院企業団」へ移管されました。その際、名称は「長崎県島原病院」と改め、地域の皆様に信頼され、親しまれる島原病院を目指してきました。病院理念は、「患者さん本人の立場に立った医療」であり、救急医療、がん医療、脳卒中医療は地域医療の中核をなすものであり、継続的に提供でき、地域の医療機関、介護施設等との相互連携を深め、職員全員が一致団結して地域医療の向上に貢献できるよう努力しております。



また、平成3年、雲仙普賢岳噴火災害を体験し、この体験からの学びは大きく今の看護にもつながっています。「自分に何が出来て何が出来ていないのかを明確にして自己の自立・自律を図ること」「自立度を明確

にした上で目標に向かい、お互いに支援しあいチームを形成すること」そして「癒やしあえる関係づくり」を基本に、平成6年から固定チームナーシングを導入しています。チームリーダーが年間のチーム活動を牽引し、看護の質の向上を図っています。看護は相手の気持ちを感じることから始める→看護診断能力を拡大し、問題解決能力を高める→マネジメントができる看護職を育成する教育プログラムの充実と、キャリア開発リーダーの運営、認定看護師・特定行為に係る研修終了者育成に努めております。

文責 田中 静子



災害訓練の様子



固定チームナーシング研修会（6月）
西元勝子先生・杉野元子先生を囲んで



新人研修



キャリア開発リーダー認定式

たくさんの応募
お待ちしております。

my病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならではの！頑張ってます！！」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp または Fax (0957) 49-8066





北村誠吾衆議院議員入閣おめでとうございます

この度の第4次安倍、第2次改造内閣において長崎4区選出の北村議員が地方創生兼規制改革担当大臣として初入閣されました。永年に渡り看護連盟にご支援いただいた先生の入閣に対し、心よりお祝い申し上げます。今後は、ますます多忙な日常になられると思いますが、健康に留意されご活躍されることを祈念いたします。

たかがい恵美子参議院議員来崎

日時：令和元年9月21日(土) 14:30~16:00

場所：長崎県看護協会（長崎会館）

高階先生をお迎えして第25回参議院選挙を終えての活動報告、事例紹介と意見交換を県支部合同会議後に開催しました。

(支部の意見)

- ・支部役員として活動できることは頑張った。
- ・施設リーダー、管理者によって温度差があり活動効果に差があった。
- ・期日前投票の所の設置条件の差があり一律に期日前投票を促進するのは困難、又期日前投票の報告がプレッシャーでもあった。
- ・日頃から連盟活動を周知させる課題を痛感した。

(青年部の意見)

- ・自分達の講演会名簿の確認はでき投票行動に繋がった。
- ・キャラバン活動で連盟のアピールができた。
- ・看護管理者と連携、協力で施設差があった。協力を得られた施設では達成感を味わえた。

(たかがい議員より)

- ・役員の達成感を会員に返すことが大切。
- ・後援会名簿の方とのつながりを選挙後も継続してほしい。
- ・長崎は得票率では全国一位、記名率も高かった。選挙に対して10倍も先に進んでいる。
- ・社会保障や国民生活の保障を上げるため、会員各自が政治活動できるよう研修を行ってほしい。



お知らせ

令和元年度九州ブロック看護管理者等政策セミナー

令和元年11月23、24日の両日に渡り、鹿児島県にて開催されます。長崎県からも看護協会や看護学校臨床の看護管理者8名が出席し、連盟活動の理解や組織強化、自立した組織、会員の育成の課題に向け研修が予定されています。

研修案内

石田まさひろ参議院議員来崎

日時：令和元年10月26日(土) 15:30~16:00

場所：長崎県看護協会（長崎会館）

第2回病棟リーダー・施設連絡員研修会

－看護管理者をまじえて－

日時：令和元年12月8日(日) 13:30~16:00

場所：長崎県看護協会（長崎会館）

編集後記

第25回参議院選挙では、石田まさひろ議員の当選を無事果たすことができました。しかし、長崎県の得票数は目標の12,000票には届かない7,479票（全国4位）でした。この1年石田氏の認知度を高めるための企画をしてきましたが、不十分だったと反省しています。何よりもこの連盟だよりを会員の皆様に読んでいただくことが広報としての課題だと考えます。今後ともその課題に向け努力していきたいと思っておりますので皆様のご意見も是非お聞かせください。